

Athénée Français Cultural Center (Tokyo)

# ストローブ＝ユイレの軌跡 1962-2020

Rétrospective Straub-Huillet 1962-2020  
à la mémoire de Michiko Yoshitaké



映画による抵抗運動を続けた  
ジャン・マリー・ストローブとダニエル・ユイレ。  
2006年同志にして伴侶であったユイレを失った後も  
過激な映画制作を展開するストローブ。  
デジタル時代に入ってもその創作意欲は衰えを知らない。  
1962年の処女作『マホルカム』から、  
新型コロナウィルス感染拡大下の  
2020年4月5日にネット配信された  
『ロボットに対抗するフランス』まで48作品を一挙上映。

日程: 合計 25日間

- 第1期: 2020年11月17日(火)～11月21日(土)(日曜・月曜休館/5日間)
- 第2期: 2020年12月15日(火)～12月19日(土)(日曜・月曜休館/5日間)
- 第3期: 2021年1月19日(火)～1月23日(土)(日曜・月曜休館/5日間)
- 第4期: 2021年2月2日(火)～2月6日(土)(日曜・月曜休館/5日間)
- 第5期: 2021年3月9日(火)～3月13日(土)(日曜・月曜休館/5日間)

ジャン＝マリー・ストローブ Jean-Marie Straub  
ダニエル・ユイレ Danièle Huillet

ジャン＝マリー・ストローブ(1933-)とダニエル・ユイレ(1936-2006)は40年以上にわたって共同で挑発的な映画を作った。ロレーヌ地方メス出身のストローブは、徴兵忌避のため58年に西ドイツに亡命、さらに69年にローマに生活・活動拠点を移した。彼らの作品の大半は先行する文芸作品に基づくが、その原典の本文の扱いは厳密で、叙述内容の伝達を効率化する改変は避けられる傾向にある。高度に文学的なドイツ語、フランス語、イタリア語の3か国語を用いて作られる彼らの映画は、2006年のダニエル・ユイレ死後もその基本姿勢を変えることなく、ストローブによって継続されている。音声言語の含蓄、音楽的抑揚に重きを置いており、その厳密な画面構図と時間構成、計算された身ぶりと廃棄しえない偶発性の弁証法は、映画表現の革命的な潜勢力を示唆している。



第3期 2021年1月19日(火)～23日(土)(日曜・月曜休館/5日間)

- 1月19日(火)
  - 17:40 おお至高の光 2009(18分) デジタル版
  - ある相続人 2011(22分) デジタル版
  - ジャックルとアラブ人 2011(11分) デジタル版
  - 19:00 慰めようもないもの 2011(15分) デジタル版
  - 母 2012(20分) デジタル版
  - ミッシェル・ド・モンテーニュのある話 2013(33分) デジタル版
- 1月20日(水)
  - 17:30 ヴェネツィアの死 2013(2分) デジタル版
  - 影たちの対話 2014(28分) デジタル版
  - ヴェネツィアについて 2014(24分) デジタル版
  - 19:00 共産主義者たち 2014(70分) デジタル版
  - アルジェリア戦争! 2014(2分) デジタル版
- 1月21日(木)
  - 17:10 水櫃と国民 2015(31分) デジタル版
  - レナートに 2015(8分) デジタル版
  - 目下の進捗状況は? ジャン＝マリー・ストローブ 2016(9分) デジタル版
  - 湖の人びと 2017(17分) デジタル版
  - ロボットに対抗するフランス 2020(10分) デジタル版
  - 19:00 マホルカムフ 1962(18分) 35mm版
  - 妥協せざる人々 1964-65(55分) 35mm版
- 1月22日(金)
  - 17:00 アンナ・マグダレーナ・バッハの日記 1967-1968(93分) 35mm版
  - 19:00 花婿、女優、そしてヒモ 1968(23分) 35mm版
  - オトン 1969(88分) 35mm版
- 1月23日(土)
  - 13:30 歴史の授業 1972(85分) 16mm版
  - 15:30 アーノルト・シェンベルクの《映画の一場面のための伴奏音楽》入門 1972(15分) 16mm版
  - モーゼとアロン 1974-75(105分) 35mm版
  - 17:40 トーク 七里圭 (映画監督) ×吉田広明 (映画批評家)



第4期 2021年2月2日(火)～6日(土)(日曜・月曜休館/5日間)

- 2月2日(火)
  - 17:00 フォルティニー/シナイの犬たち 1976(83分) 16mm版
  - 19:00 すべての革命はのるかそるかである 1977(11分)
  - 雲から抵抗へ 1978(105分) 35mm
- 2月3日(水)
  - 16:20 早すぎる、遅すぎる 1980-81(101分) 16mm版
  - 18:30 アン・ラジャシャン 1982(8分) 35mm版
  - アメリカ(階級関係) 1983-84(126分) 35mm版
- 2月4日(木)
  - 17:20 四部の提案 1985(40分) デジタル版
  - 18:30 エンバドクレスの死 1986(132分) 35mm版
- 2月5日(金)
  - 17:00 黒い罪 1988(40分) 35mm版
  - セザンヌ 1989(51分) 35mm版
  - 19:00 アンティゴネー 1991-92(100分) 35mm版
- 2月6日(土)
  - 14:50 ロートリンゲン! 1994(21分) 35mm版
  - 今日から明日へ 1996(62分) 35mm版
  - 16:50 シチリア! 1998(66分) 35mm版
  - 18:00 トーク 渋谷哲也(ドイツ映画研究者)

第5期 2021年3月9日(火)～13日(土)(日曜・月曜休館/5日間)

- 3月9日(火)
  - 16:30 労働者たち、農民たち 2000(123分) 35mm版
  - 19:00 放蕩息子の帰還/辱められた人々 2003(64分) 35mm版
  - ルーブル美術館訪問 2004(48分) 35mm版
- 3月10日(水)
  - 17:10 あの彼らの出会い 2006(68分) 35mm版
  - ヨーロッパ2005年、10月27日 2006(12分) デジタル版
  - 19:00 アルテミスの膝 2007(26分) 35mm版
  - ジャン・ブリカールの道程 2008(40分) 35mm版
- 3月11日(木)
  - 16:50 魔女一女だけで 2009(21分) 35mm版
  - ジョアシャン・ガッツィ 2009(2分) デジタル版
  - コルネイユ＝プレヒト 2009(80分) デジタル版
  - 19:00 おお至高の光 2009(18分) デジタル版
  - ある相続人 2011(22分) デジタル版
  - ジャックルとアラブ人 2011(11分) デジタル版
- 3月12日(金)
  - 17:20 慰めようもないもの 2011(15分) デジタル版
  - 母 2012(20分) デジタル版
  - ミッシェル・ド・モンテーニュのある話 2013(33分) デジタル版
  - 19:00 ヴェネツィアの死 2013(2分) デジタル版
  - 影たちの対話 2014(28分) デジタル版
  - ヴェネツィアについて 2014(24分) デジタル版
- 3月13日(土)
  - 15:20 共産主義者たち 2014(70分) デジタル版
  - アルジェリア戦争! 2014(2分) デジタル版
  - 17:00 水櫃と国民 2015(31分) デジタル版
  - レナートに 2015(8分) デジタル版
  - 目下の進捗状況は? ジャン＝マリー・ストローブ 2016(9分) デジタル版
  - 湖の人びと 2017(17分) デジタル版
  - ロボットに対抗するフランス 2020(10分) デジタル版
  - 18:30 トーク 赤坂太輔(映画批評家)

ストローブ＝ユイレの軌跡  
1962-2020  
Rétrospective Straub-Huillet 1962-2020

上映スケジュール

第1期 2020年11月17日(火)～21日(土)(日曜・月曜休館/5日間)

- 11月17日(火)
  - 17:20 マホルカムフ 1962(18分) 35mm版
  - 妥協せざる人々 1964-65(55分) 35mm版
  - 19:00 アンナ・マグダレーナ・バッハの日記 1967-1968(93分) 35mm版
- 11月18日(水)
  - 16:30 花婿、女優、そしてヒモ 1968(23分) 35mm版
  - オトン 1969(88分) 35mm版
  - 19:00 歴史の授業 1972(85分) 16mm版
- 11月19日(木)
  - 16:30 アーノルト・シェンベルクの《映画の一場面のための伴奏音楽》入門 1972(15分) 16mm版
  - モーゼとアロン 1974-75(105分) 35mm版
  - 19:00 フォルティニー/シナイの犬たち 1976(83分) 16mm版
- 11月20日(金)
  - 16:30 すべての革命はのるかそるかである 1977(11分)
  - 雲から抵抗へ 1978(105分) 35mm
  - 19:00 早すぎる、遅すぎる 1980-81(101分) 16mm版
- 11月21日(土)
  - 14:30 アン・ラジャシャン 1982(8分) 35mm版
  - アメリカ(階級関係) 1983-84(126分) 35mm版
  - 17:10 四部の提案 1985(40分) デジタル版
  - 18:00 トーク 持田睦(演出家)

第2期 2020年12月15日(火)～19日(土)(日曜・月曜休館/5日間)

- 12月15日(火)
  - 16:20 エンバドクレスの死 1986(132分) 35mm版
  - 19:00 黒い罪 1988(40分) 35mm版
  - セザンヌ 1989(51分) 35mm版
- 12月16日(水)
  - 16:50 アンティゴネー 1991-92(100分) 35mm版
  - 19:00 ロートリンゲン! 1994(21分) 35mm版
  - 今日から明日へ 1996(62分) 35mm版
- 12月17日(木)
  - 17:20 シチリア! 1998(66分) 35mm版
  - 19:00 労働者たち、農民たち 2000(123分) 35mm版
- 12月18日(金)
  - 16:30 放蕩息子の帰還/辱められた人々 2003(64分) 35mm版
  - ルーブル美術館訪問 2004(48分) 35mm版
  - 19:00 あの彼らの出会い 2006(68分) 35mm版
  - ヨーロッパ2005年、10月27日 2006(12分) デジタル版
- 12月19日(土)
  - 14:20 アルテミスの膝 2007(26分) 35mm版
  - ジャン・ブリカールの道程 2008(40分) 35mm版
  - 16:00 魔女一女だけで 2009(21分) 35mm版
  - ジョアシャン・ガッツィ 2009(2分) デジタル版
  - コルネイユ＝プレヒト 2009(80分) デジタル版
  - 18:00 トーク 深田見司(映画監督)

- 各回入れ替え制
- 全作品日本語字幕付き
- 料金 一般＝1回券1000円/3回券2400円  
アテネ・フランセ文化センター会員、シニア、学生:1回券＝800円  
※アテネ・フランセ文化センター会員入会をご希望の方は登録が必要になります。登録料＝一般＝1500円(約1年間有効)

■会場&お問い合わせ

**アテネ・フランセ文化センター**  
東京都千代田区神田駿河台2-11 アテネ・フランセ4F  
(JR 地下鉄 御茶ノ水駅/水道橋駅徒歩5分)  
TEL 03-3291-4339 (13:00-20:00)  
<http://www.athenee.net/culturalcenter>



会場: アテネ・フランセ文化センター (御茶ノ水)

主催: ATHÉNÉE FRANÇAIS CULTURAL CENTER アテネ・フランセ文化センター



協力: 映画美学校 THE FILM SCHOOL OF TOKYO

